

近畿職業能力開発大学校への進学が進むべき道を記してくれました！

私が高校生だった頃、当時、兄が通っている学校はどんな学校だろうと興味本位でオープンキャンパスに参加した際に、ライトレースカーやPLCに触り自分が書いたプログラムで動作させたときは衝撃を受け、もっと知りたい！と思い近畿職業能力開発大学校（電気エネルギー制御科→生産電気システム技術科）に進学しました。

入校してからは実習していく中で様々な苦労はありましたが、自分の手で作った装置（機器）が動作したときの喜びや嬉しさから改めて私はモノづくりが好きであることを実感でき、モノづくりができる今の仕事に出会えることができました。

実習で学んだ内容を技能検定で活用！

学生時代は、日々の実習で得た知識を基に、日本の国家資格である技能検定を受験しました。

技能検定の受験に当たっては、先生や共に受験する同級生と効率的な作業方法やつまずきやすい箇所についての確認を行ったりし、技術力の向上に努めました。



技能検定で製作する
成果品

株式会社 てつでん
的場 亮介さん (26)

近畿職業能力開発大学校
応用課程
生産電気システム技術科

令和02年度 修了



将来、工場のリーダーになりたいと思っています。

将来は、生産本部（工場）のリーダーになりたいと思っています。現在は設計業務を担当しておりますが、設計以外の部署（例：検査や資材など）でも経験を積み、受注から出荷までの作業・管理をこなせるようになり、引っ張っていける存在を目指しています。

近畿職業能力開発大学校で得た心意気が、現在の仕事に役立っています。ありがとうございました。

就職先企業での活躍

的場 亮介さんの業務

JR西日本へ出向し、3年目になります。現在は、駅改良工事にかかわる設計を担当しており、お客様への案内サービス設備などについて、ユーザーニーズに対応できる仕様検討や設計を行っています。鉄道事業者様やお客様の視点に立って当社の製品を知ることで、てつでんに戻った際にこの知見を活かせるよう日々勉強しています。

的場さんが業務している様子▼



上司からの声 技術本部長 兼 生産本部長 竹形 宣彦 様

学校で学ばれた知識や技能が即戦力として活かされています。ユーザーやサービスを提供する側の立場で経験を蓄積し、当社における将来の中心的人物となるべく、活躍を期待しています！



株式会社てつでん（大阪府豊中市） 現在近畿職業能力開発大学校の修了生1名が活躍

てつでんは、鉄道事業に関わるお客様からのご要望にお応えする製品の製造、およびお客様の課題解決に寄与できる製品開発を行っている鉄道総合メーカー。

(製品例)

- ・LED式電光掲示板（発車標）
- ・非常ボタン
- ・360度形踏切警報灯
- ・中継信号機
- ・鉄道信号装置（継電連動装置、電子連動装置、運行管理システム）
- ・接続箱 など

